



3月のある日、神社から「ドドッコドン」、「シャンシャン」と楽の音が聞こえてくる。「胴造りができてない！もっと腰をおどせ」、「面が下がってる、長押を見ろ！」、今度は越のに入った声が入ってくる。

これは、武蔵御嶽神社の神職を対象に行われる神楽講習会の様子である。先輩達の厳しい指導の下、神楽の伝承並びに技術の向上を目的に毎年3月に稽古を行っている。そもそも神楽とは、単なる余興ではなく、神様に奏上するための神事である。神楽で舞う踊りにはテーマがあり、小鍛冶と大鍛冶の二神が力を合わせて宝剣を打ちあげる「鍛冶屋」や、神話の因縁等物語を神楽にしたものがある。こうして、代々受け継がれてきた神楽は約17座にも及び、江戸時代から約200年続いている。

先人から代々受け継がれ、今もお伝承されながら御岳山特有の形を作り上げてきた神楽は御岳山の財産である。見る人の心を清らかにし、神と人々を楽しくも厳かな感動へと誘う神楽の舞台は、毎年6月～11月の夜に一般公開されている。ぜひ一度ご覧下さい。

*夜神楽の一般公開は、6月～11月の第4日曜日20時から。

御岳山でちょい



ランチスポット ～長尾平の活用術～



ロックガーデンに行くそのアナタ、ちょっと待った！
秋本番の御岳山。人気コース「ロックガーデン」の混雑は避けられない・・・
そこでオススメなのが「長尾平」

「早起き派」と「のんびり派」のアナタに合わせた長尾平の活用術を紹介！！

「早起き派」

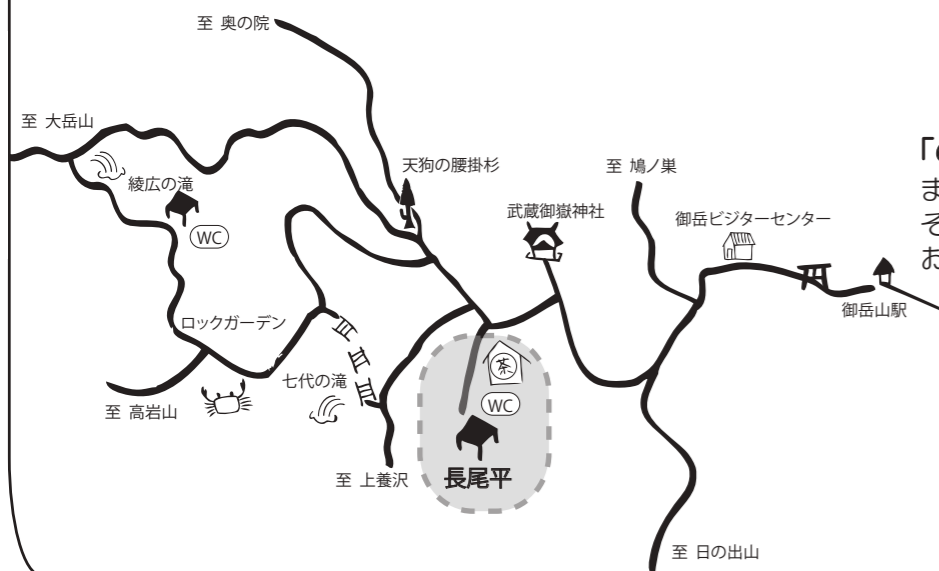
まずロックガーデンへ！
滝から天狗岩、そして清々しい沢沿い歩き。
散策を満喫したら最後に長尾平へ。
ポカポカ陽だまり、お弁当が美味しい。

「のんびり派」

まずは武蔵御嶽神社にご挨拶。
それから長尾平で腹ごしらえ。
お腹が落ち着いたらロックガーデンへGO！

「よくばり派」

長尾平の入り口にあるお茶屋さん。
ご主人は、ソムリエさん。
美味しい飲み物と
楽しいおしゃべりはいかが！？



御岳ビジターセンターが照らす・・・



彩

秋の御岳溪谷を彩る色
イチョウの黄はだ色、ケヤキの飴色、
モミジの茜色、空の淡水色、
フユイチゴの紅色
日本人は昔からこうやって
いろいろな自然を
いろいろな色で見えてきた
ふと気づけば、川の水の中に色とりどりの葉が流れ
川の中を彩っている



御岳ビジターセンター
〒198-0175 東京都青梅市御岳山38-5
制作・発行
開館 (9:00～16:30) 休館 (月曜日 ※祝日の場合は翌日)
TEL 0428-78-9363 FAX 0428-78-9445
HP <http://mitakevc929.ec-net.jp/> 2015年11月1日 第2号

解説員オススメの

御 岳 溪 谷 7 景

昔から、射山溪しゃざんけいとして親しまれてきた御岳溪谷。今も多くの人々を魅了する溪谷のすばらしい秋の景色をご紹介します。

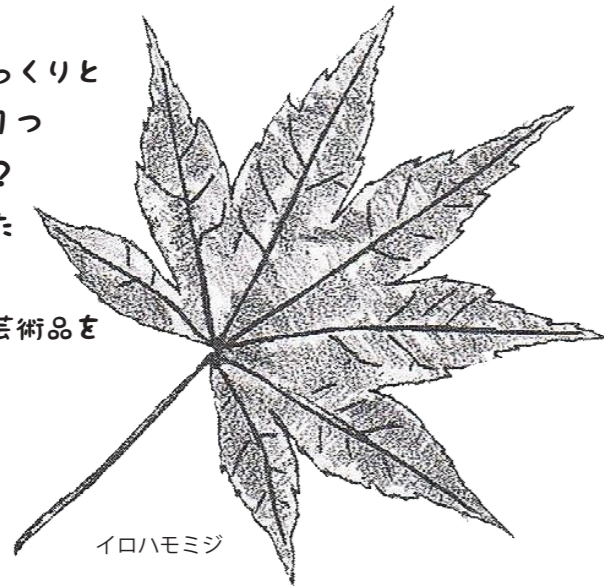
ケヤキ吹雪

ケヤキの木から舞い落ちた葉のついた小枝。葉のつけ根をよく見ると、そこには小さな実がついている！風吹かれ旅立つわが子はクルクルと！



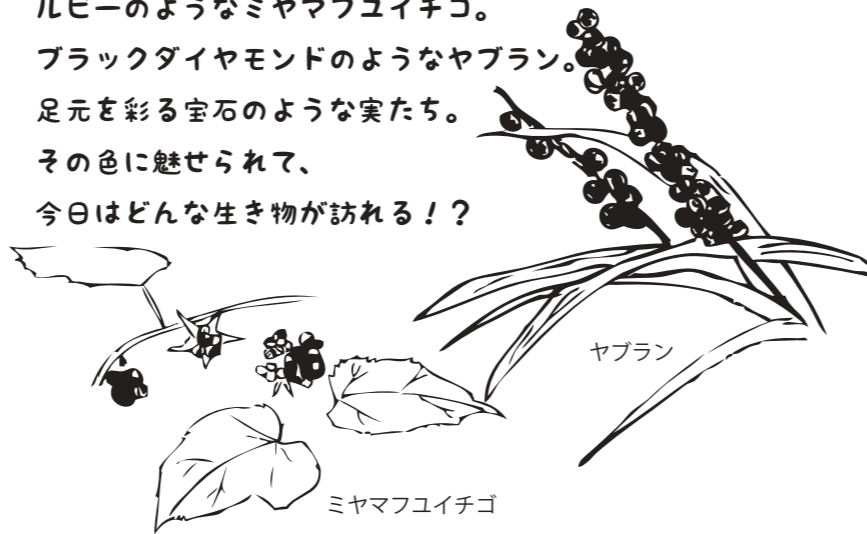
葉っぱグラデーション

落ち葉を手に取り、じっくりと見てみて。葉っぱ1つ1つ微妙に色が違いますか？さて、あなたが見つけた葉は何色でした？さあ、自然が造り出す芸術品をご覧ください！



宝石めっけ

ルビーのようなミヤマフユイチゴ。ブラックダイヤモンドのようなヤブラン。足元を彩る宝石のような実たち。その色に魅せられて、今日はどんな生き物が訪れる！？



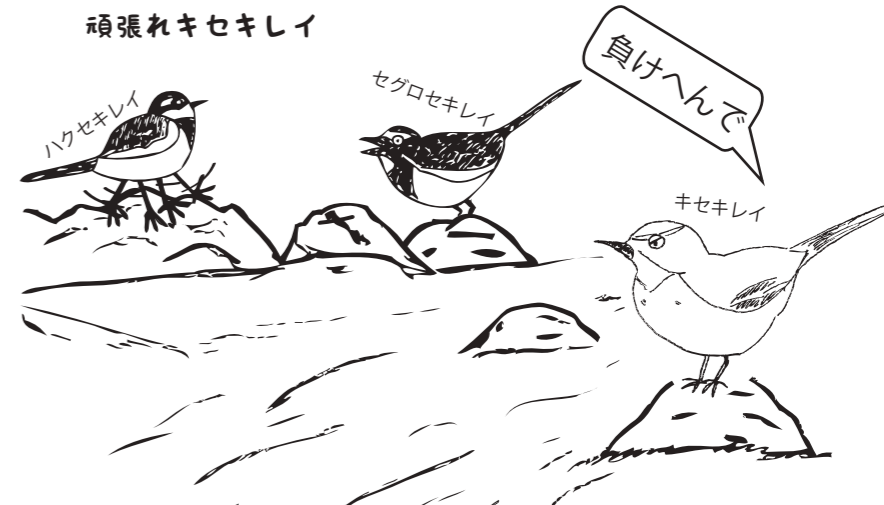
光り輝く木々

スポットライトのように西日に照らされ、川と御岳山の山並みを背景にキラキラと輝く木々が浮かび上がる。午後、御岳大橋からの素晴らしき景色！



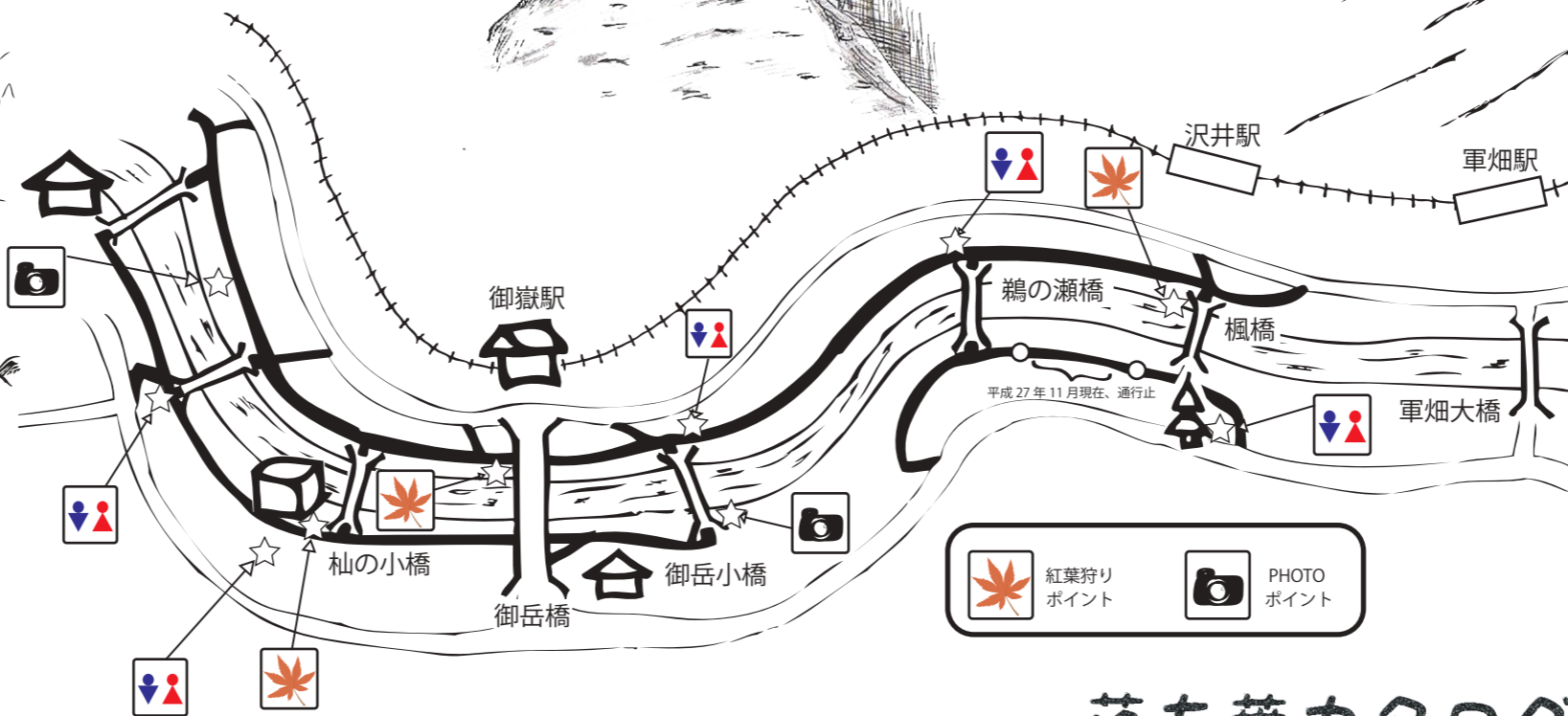
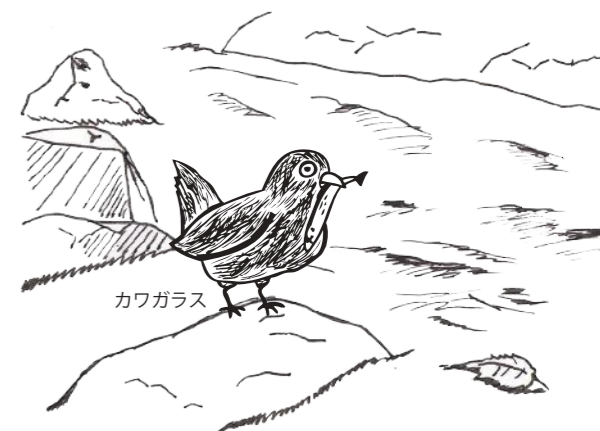
3色のセキセイたち

川の上流はキセキセイのホームグラウンド。しかし最近、主に中流にすむセグロセキセイや下流にすむハクセキセイに押され気味！？エサとなる水生昆虫等をめぐってのバトル。頑張れキセキセイ



潜水鳥

小さな体で、水の流れにも負けず川へもぐり、水生昆虫や小魚を捕まえる。まさに、素潜りの名人のカワガラス！朱色に色づく水面を背景に、エサを探るその姿は、この季節ならではの。



落ち葉カタログ

木々の葉は、色に 形に それぞれ違うあなたのお好みは！？

